

## 桜 島

### 1 火山活動度レベル(平成 17 年 8 月)

2 (比較的静穏な噴火活動)

### 2 概 況

爆発的噴火等<sup>1)</sup>は観測されませんでした。火山性地震は長期的には少ない状況が続いています。

### 3 噴火活動の状況

ごく小規模の噴火が時折発生しましたが、爆発的噴火は観測されませんでした。

### 4 噴煙活動の状況

時折、灰白色や乳白色の噴煙が上がるのを観測しました。噴煙の最高高度は、3日の乳白色で500mでした。

### 5 降灰の状況

鹿児島地方気象台での観測では、降灰はありませんでした。

### 6 地震・微動活動の状況(表1、図1)

火山性微動が2回発生しました。

火山性地震は先月と大きな変化はありませんでした。

表1 最近1年間の地震・微動回数(B点:2004年9月~2005年8月)

2004~2005年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
地震回数	147	174	161	210	134	205	231	125	236	50	129	132
微動回数	3	2	12	1	2	0	4	3	2	0	29	2

1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。ここで示す噴火の回数はこの回数を示します。

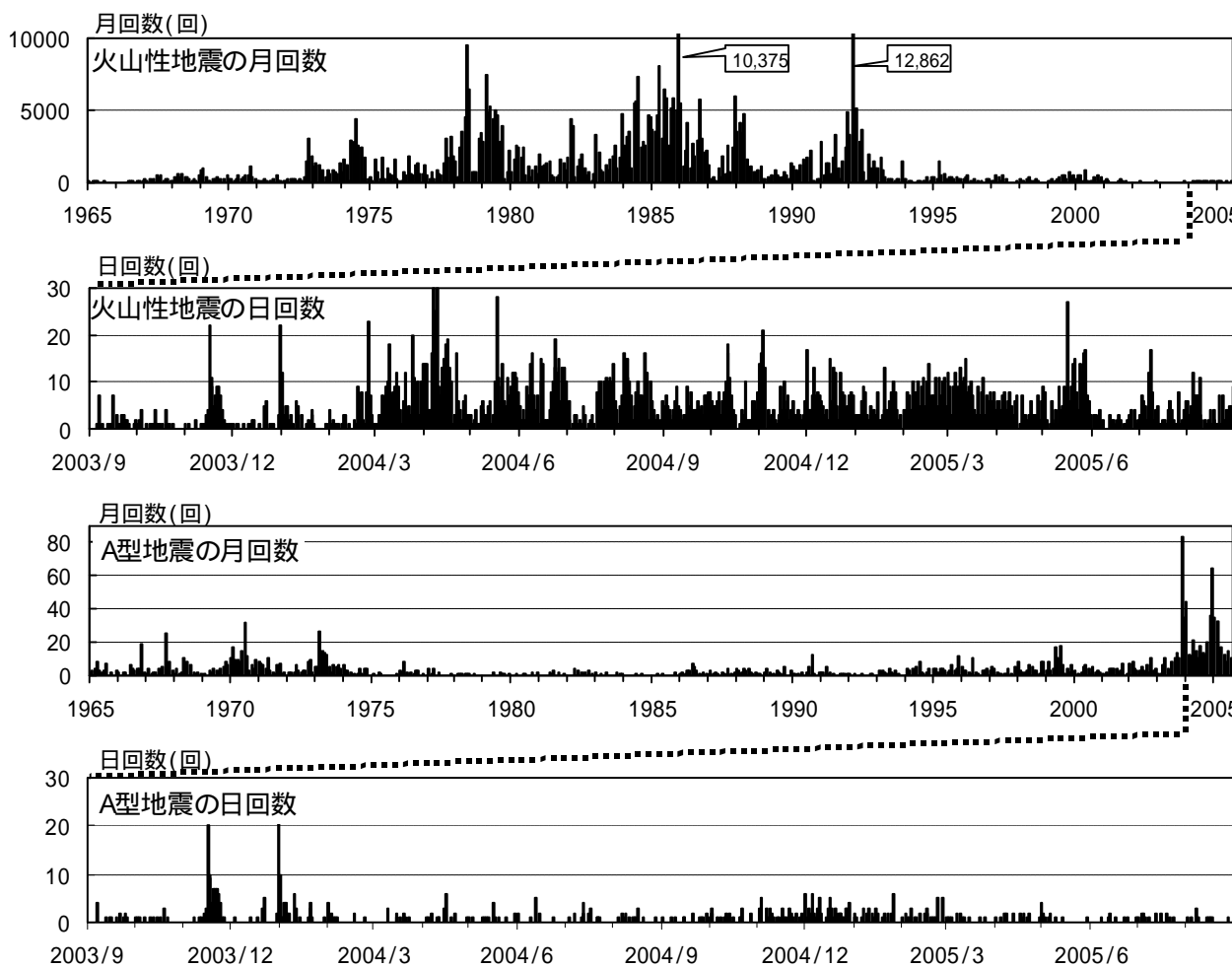


図 1 火山活動経過図(1965 年 1 月 ~ 2005 年 8 月)

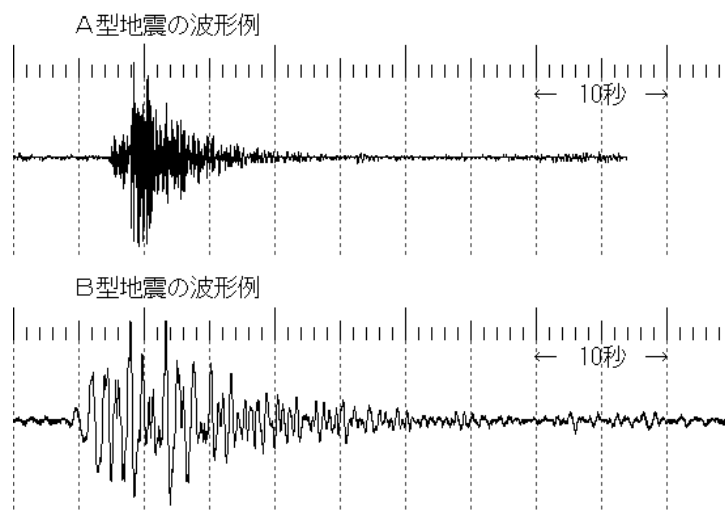


図 2 桜島における火山性 A 型地震と B 型地震の波形例  
 桜島で発生する火山性地震は、ほとんどが低周波の B 型地震です。図 1 で示した A 型地震は、高周波で P・S が明瞭な地震です。

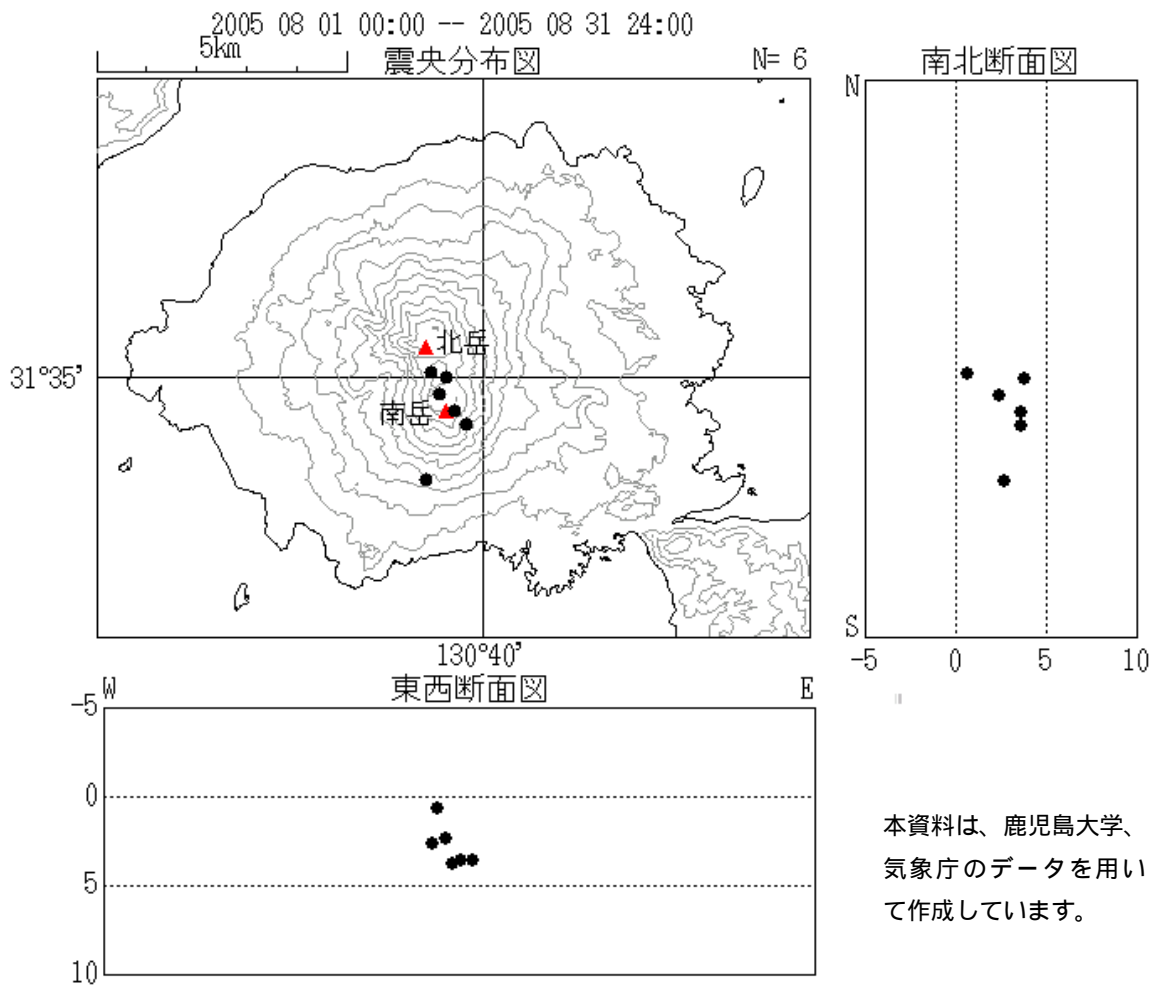


図3 火山性地震の震源分布図(2005年8月1~31日)

震源は南岳直下の海面下0~3km付近に分布しています。また、南岳の南南西1.5kmの海面下3km付近にも分布しています。

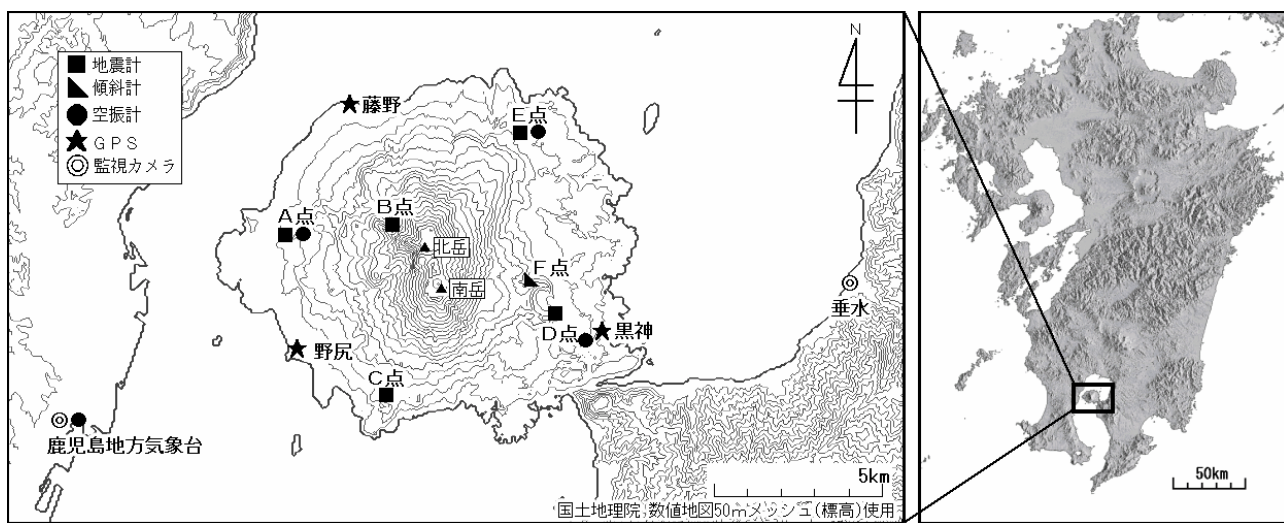


図4 観測点配置図

## 7 地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、長期的には東西方向にわずかな伸びの傾向が続いています(図 5)。

8 ~ 10 日に機動観測を実施し、GPS 繰り返し観測を行ないました。鹿児島地方気象台を固定点とし、昨年 9 月と比較した各観測点の水平方向の動きは、桜島を中心として放射状に伸びています。これは桜島がわずかながら膨張していると考えられます(図 6)。

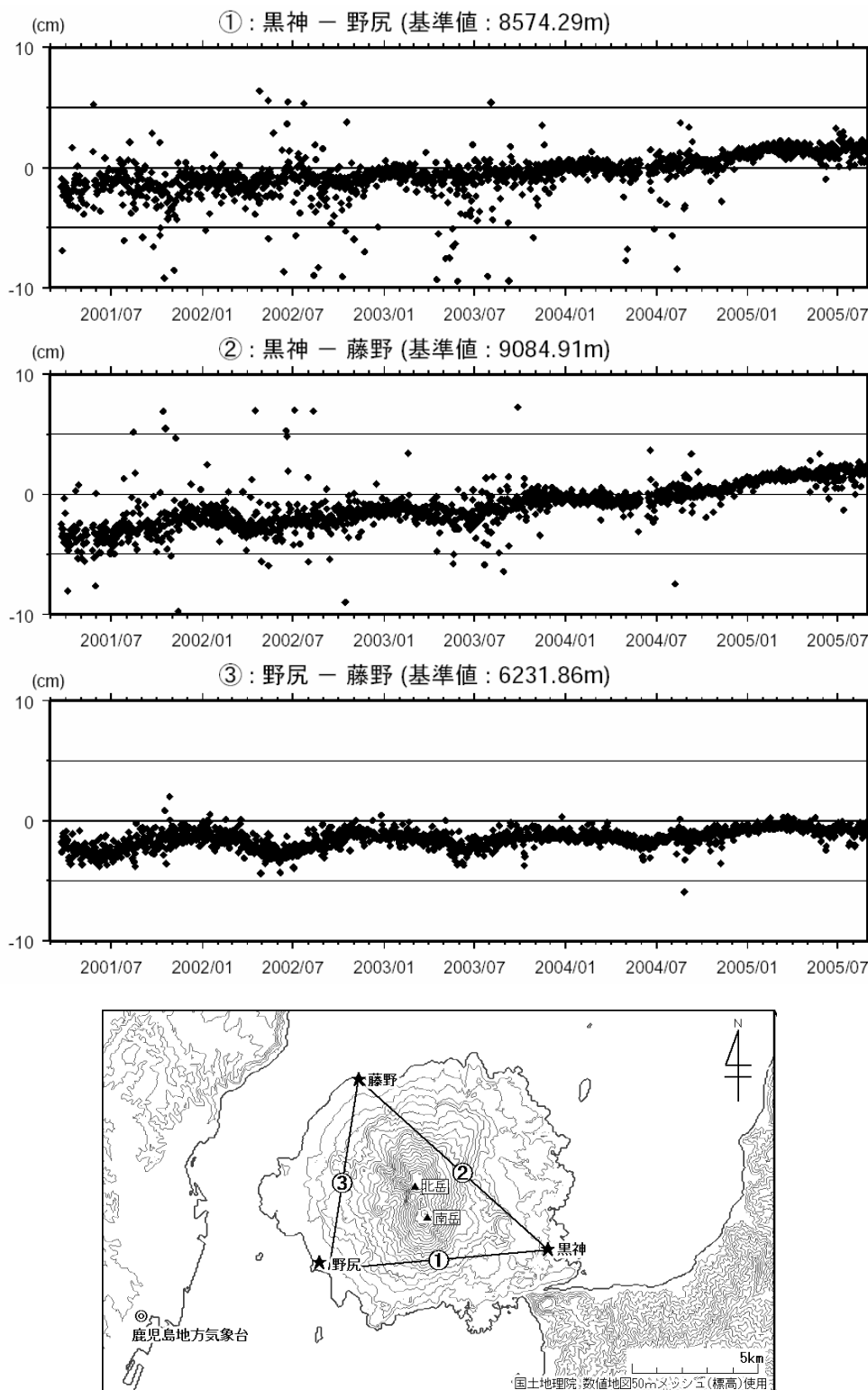


図 5 GPS による基線長変化(2001 年 3 月 22 日 ~ 2005 年 8 月 31 日)

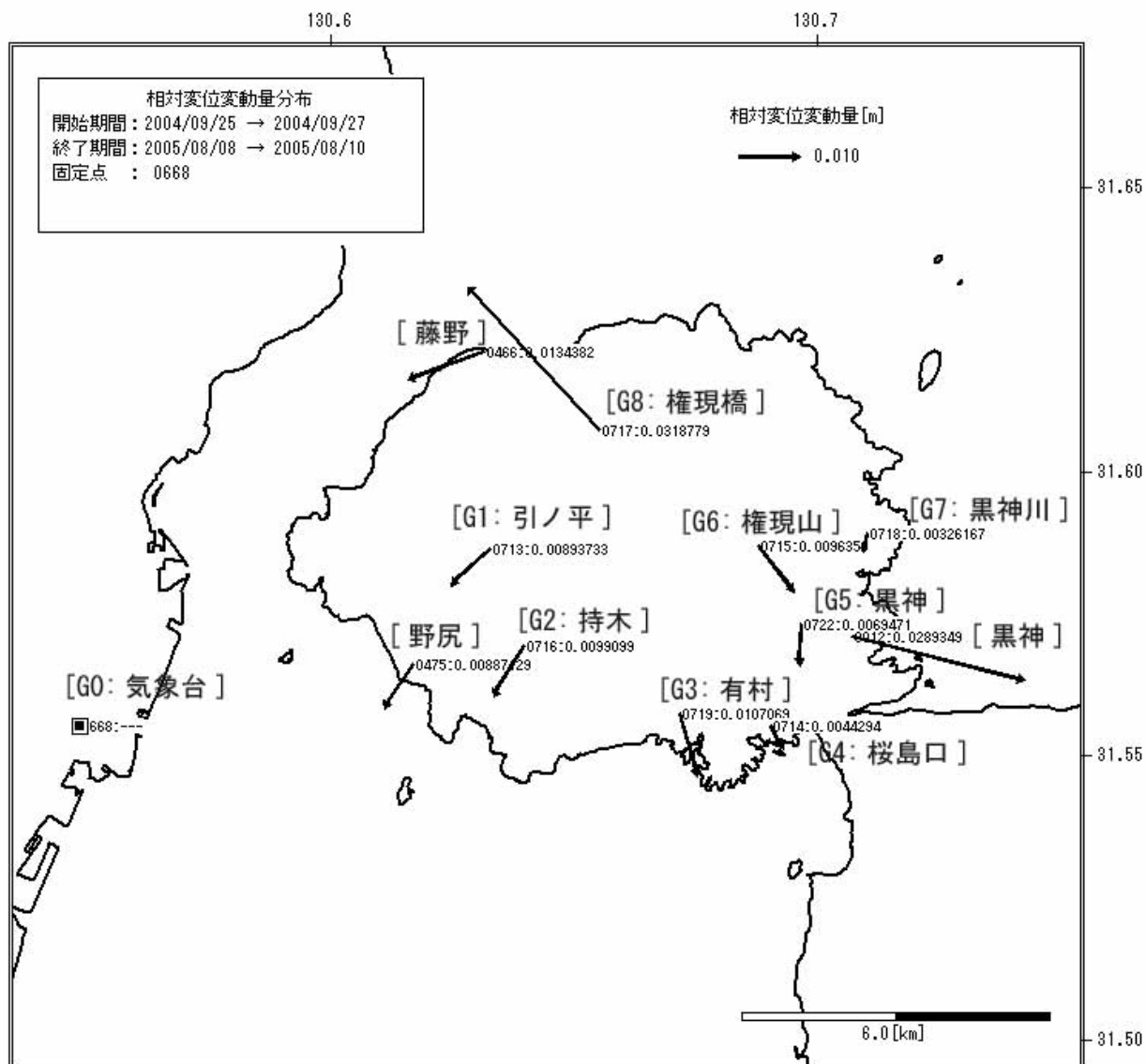


図6 GPS繰り返し観測による変位ベクトル(2004年9月 - 2005年8月)